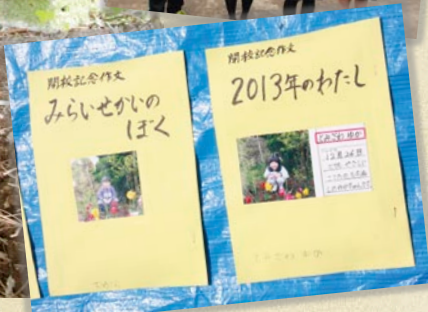


# タイムカプセル発掘!

平成5年3月、統合により閉校になった旧久賀小学校。時を越えて出てきたものは、未来の自分を思いえがいた夢や希望のメッセージでした。



長く晴れた5月3日。

掘り起こされたカプセルから中のものを取り出して広げていくと、教室に貼ってあった全学年の時間割や校歌、一人ひとりに宛てられた先生からの手紙、そして20年後のぼく・わたしの絵や作文、習字などが、驚くほどきれいな当時のままの姿で出てきました。学年ごとに集まり、自分が入れたものを受け取って見た後は、友だちと何をかいたのか見せ合い。口々に出る言葉は「こんなことかいたんだっけ?」と笑い声が上がっていました。それでも、話しているうちに当時のことを思い出してきたようで、みんな小学生に戻ったかのように、明るくキラキラとした笑顔であふれていました。



平成5年4月号の表紙だった方に再登場していただきました。



写真左から

宇井 稔<sup>じ</sup>さん(当時2年生)

正義の味方なのか悪役なのかわからないけど、ヘンナーマンとかいていました。

現在、いもやです。

佐藤 成<sup>なる</sup>紘<sup>ひろ</sup>さん(当時1年生)

「自分の店を持って、お金持ちになる。そして家を建てる」こと。

現在、ガソリンスタンドで働いています。

木下 操<sup>のり</sup>さん(当時久賀小学校校長)

高木 さつきさん(当時6年生)

現在、羽田空港で働いています。

山崎(旧姓富澤)由香<sup>ゆか</sup>里<sup>り</sup>さん、佐藤 春<sup>はる</sup>菜<sup>な</sup>さん(当時3年生)

当時好きだった遊具、回旋塔で遊んでいる絵をかいていました。

## 編集後記

★多古町でもすっかり田植えが終わり、初夏には鮮やかな緑と、9月には黄金色の稲穂、そして美味しい新米が楽しみとなりました★かつての我が家では、ゴールデンウィークといえは一家総出で田植えと決まっていました。今のように戦車みたいなコンバインや、乗用の田植え機などはもちろん無く、横一列になって苗箱を背負って手で植えたものです。田んぼ一枚植えるのにはかなり時間がかかりました。お昼ご飯は大きいおにぎり。今思えば田んぼで食べるのも案外いいもの。当時、小学生だった自分には今でも鮮明に記憶に残っています。子どもの頃を懐かしく思うのは年を取ったからでしょうか。(苦笑)

★まだまだ修行が足りません。5月号ができた!と思つたのもつかの間。えっ?もう締め切り?と追われて6月号です★毎日お天気が気になって、朝晩必ず気象情報をチェックします。なぜかつていいますと:異動して一カ月が過ぎましたが、取材になるとなぜかつきまとう雨。恵みの雨はわかるけど、その日だけは晴れてほしい。なのはな祭りが中止になってしまいました。たくさんの方も楽しみにしていたのに残念です。そしてこれから待ち構えているイベント:どうか無事にできますよう祈るのみ。久しぶりに靴で占ってみようかな?「あくした天気になあれ!」